

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 村下 伯	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	ハンセン病療養所入所者等支援事業		
目的	(1) 対象	ハンセン病療養所入所者等及び県民	
	(2) 意図	ハンセン病療養所入所者の福祉の増進と県民に対する正しい理解の促進を図る。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ハンセン病療養所入所者家族援護費…療養所入所により、生活困難な県内居住家族の生計を維持するため、援護を行う。 療養所入所者里帰り事業…県出身の療養所入所者等に郷土島根を身近に感じていただき、県民との交流が広がるよう、里帰り事業を行う。 ハンセン病に関する普及啓発事業…ハンセン病問題に対する県民の正しい理解を深めるため、普及啓発を行う。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 ハンセン病療養所訪問者数	目標値		150.0	150.0	150.0	150.0	人
		取組目標値						
	式・定義 県・島根県藤楓協会事業で療養所へ訪問した県民の人数	実績値	70.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,043	1,547
うち一般財源 (千円)	1,043	945

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・島根県出身のハンセン病療養所入所者・・・7園に18名 平均年齢85歳（H28.3.31現在）
 ・訪問人数・・・70人（延べ87人） ①県職員及び島根県藤楓協会役員による訪問・・・18人（延べ31人） ②人権担当職員、看護学生による訪問研修・・・52人（延べ56人） ③民間団体による訪問（島根県藤楓協会補助活用）・・・0人 島根県藤楓協会補助を活用した訪問は年度による変動が大きい。27年度の申請数はなかった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

DVDの作成
 ・ハンセン病療養所の様子や入所者の証言を記録として残すことができた。
 ・今後の普及啓発活動にあたり、研修資料を作成することができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 入所者の里帰りが難しくなっており、交流の場が少なくなっている。
 - ハンセン病問題の風化が危惧されている。
 - ハンセン病問題の啓発が充分とはいえない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 入所者の高齢化
 - 普及啓発の場が充分とはいえない
- ③原因を解消するための「課題」
- 県民が療養所を訪問する機会を増やす。
 - 更なる普及活動を行う必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・島根県藤楓協会と協同して里帰り事業や療養所訪問等を引き続き支援し、入所者と島根県との交流を継続する。
 ・他機関と連携し、街頭キャンペーンや研修等を行い、ハンセン病問題の正しい理解を一層広げ、より効果的にハンセン病問題の普及啓発を図る。
 ・研修資料を提供し、啓発の促進を図る。

9. 追加評価（任意記載）